

黄色いハンカチ等による安否確認

「黄色いハンカチ」等による安否確認は、災害時に安否確認を短時間にするとともに、「救助が必要な人がいるか」を即座に判断できる目印となることから、全国的にも取り組みが進んでいます。

まず

大きな揺れがおさまったら、出口を確保してガスを止め、ブレーカーを落とし、家族の無事確かめましょう。

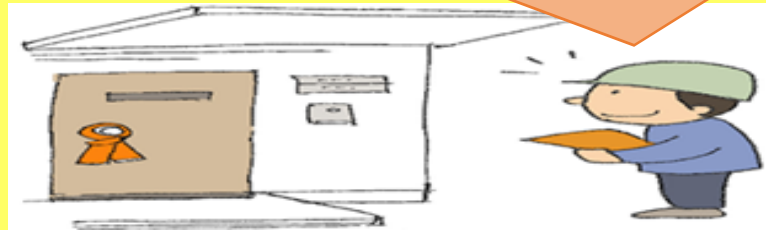


黄色いハンカチ作戦！

家にいる家族が全員無事だったら、黄色いハンカチ(大きく目立つ黄色い布)等を玄関先に掲げ、自主防災活動に参加するなど、次の行動に移しましょう。

※ 掲示物(ハンカチ、タオル、ビニール袋)や色(黄色、白色)、安否確認の方法などは、各自治会で決めています。地元の自治会にご確認ください。

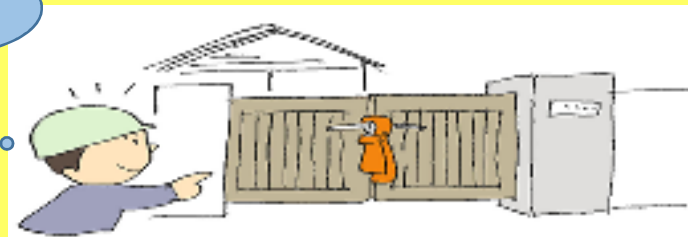
ご近所さんに「わが家は大丈夫！」と知らせる目印です。



黄色いハンカチが安否確認をスピードアップ！

黄色いハンカチがあると、いちいちインターホンを押したりドアを叩いたりしなくても、外から一目で無事と分かり、すぐに次のところへ走れます。

黄色いハンカチ！
ここは大丈夫！



※ ハンカチ等を掲げた後は、自主防災活動に参加しなくてもよいとの誤解もあるようです。災害時には、無事を知らせるためにハンカチ等を掲げた後、地域における災害情報の共有や、状況に応じ、救出・救助等の災害対応を行っていただく必要がありますので、ご注意ください。また、地震によっては本震の前後に、比較的大きな地震が発生するケースがあります。そういった場合には、一度黄色いハンカチ等を掲示した後でも、再度の安否確認が必要となる場合があることなど、併せてご注意ください。